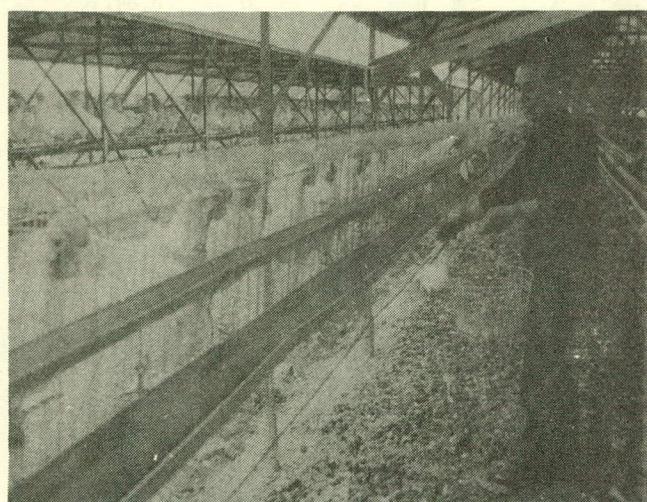




# 農業のやうなあ

(9) 養鶏



# 梅雨期は大雨が災害にそなえて家庭の準備を

六月の梅雨期にはいると全国的に降雨量がふえ、また熱帶性低気圧や台風の影響により局地的な集中豪雨に見舞われることが多いこのため全国各地で災害が発生しています。昨年は六月十日から七月二十日までの間に発生した大雨で、全国では死行方不明三十八人、負傷者百十二人をはじめ四万世帯十五万人に及ぶ人が被害を受けました。

幸いに麻生町では、近年大雨による大きな災害を受けていませんが、国民一人一人が常日頃、災害に対する十分注意しなくてはなりません。

梅雨期をむかえ各家庭では次の点に心がけて災害に備えましょう。

(1) ラジオ、テレビなどで気象情報や防災上の注意をよく聞く。

(2) 住居付近の地形からみてどのような災害が起こるかを知り、安全な避難場所およ

く心がけと準備

(3) 避難するときの携行品を非常袋などに入れて準備しておく。

(4) 二食程度の食糧、飲料水を準備する。

(5) 浸水の恐れのある地域は、家財道具を台の上や二階へ移す。

(6) ロープや帶を用意する(子供を背負ったり、浸水地帯を避難するときの連絡用)

肝吸虫、横川吸虫

## 郷土病にとりくむ

### 診療所で検診

国保第一診療所(所長秋田善昭)では、麻生町民が霞ヶ浦の淡水魚を生で食べている。

鶏の飼育数は、約二万羽、年間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子

養鶏は、わが国古来の畜産

業ですが大きく別けると、採卵鶏と肉用鶏(ブロイラー)

の二種類になります。

麻生町における現在の採卵

鶏の飼育数は、約二万羽、年

間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営

費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子

養鶏は、わが国古来の畜産

業ですが大きく別けると、採

卵鶏と肉用鶏(ブロイラー)

の二種類になります。

麻生町における現在の採卵

鶏の飼育数は、約二万羽、年

間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営

費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子

養鶏は、わが国古来の畜産

業ですが大きく別けると、採

卵鶏と肉用鶏(ブロイラー)

の二種類になります。

麻生町における現在の採卵

鶏の飼育数は、約二万羽、年

間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営

費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子

養鶏は、わが国古来の畜産

業ですが大きく別けると、採

卵鶏と肉用鶏(ブロイラー)

の二種類になります。

麻生町における現在の採卵

鶏の飼育数は、約二万羽、年

間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営

費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子

養鶏は、わが国古来の畜産

業ですが大きく別けると、採

卵鶏と肉用鶏(ブロイラー)

の二種類になります。

麻生町における現在の採卵

鶏の飼育数は、約二万羽、年

間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営

費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子

養鶏は、わが国古来の畜産

業ですが大きく別けると、採

卵鶏と肉用鶏(ブロイラー)

の二種類になります。

麻生町における現在の採卵

鶏の飼育数は、約二万羽、年

間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営

費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子

養鶏は、わが国古来の畜産

業ですが大きく別けると、採

卵鶏と肉用鶏(ブロイラー)

の二種類になります。

麻生町における現在の採卵

鶏の飼育数は、約二万羽、年

間売り上げ高約五千五百万円

となるが、飼料代などの経営

費が多額を用いるので農家の

収益は低い。このことから最近は、多頭羽飼育によ

る企業化が行なわれ、生産量の増加もあって、今後も大き

な期待はない。

また、肉用鶏も飼育農家は少なく羽数も年間延で十五万羽、売り上げ高約五千万円となつていますが、採卵鶏と同

じように経営費を差し引くと

経営に苦心している。

(写真) 島並の大野泰弘さんは、採

卵鶏を常時二千羽以上飼育、無産の鳥をみわけるのにテー

ブレコードを使用するなど

結婚、養子縁組、離婚、養子</